

会 議 録 (概要)

会議の名称	佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（案）に関する意見交換会
開催日時	令和2年1月24日（金） 19時～20時
場所	アミューズメント佐渡
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 意見交換会 1) 資料説明 2) 補足説明 3) 意見交換 4 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	≪市民≫ 4名 ≪市役所≫ 7名 市長 三浦 基裕 企画課長 猪股 雄司 企画課課長補佐 中川 裕二 企画課行革推進係長 椎 俊介 企画課行革推進係主事 菊池 勇司 企画課政策推進係長 安藤 辰也 企画課政策推進係主事 澤山 千明
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	3名（佐渡テレビジョン2名、新潟日報社1名）
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
中川課長補佐 三浦市長 猪股課長	<p>（開会）</p> <p>（挨拶）</p> <p>（配布資料1～4に基づき説明）</p> <p>（配布資料5～7に基づき説明）</p> <p>（捕捉説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、個別施設計画（案）についてはパブリックコメントを実施中である。計画内容については、市が抱える 800 近い施設の個別対応策や対策費用を明らかにするものである。 ・しかし、個々の施設の個別対応策については行政のみでは決定できないため、利用者等との対話の中で検討を進めたい。計画としては今回策定するが、具体的対応策が決定しているものはごくわずかである。それ以外の施設については、まさにこれから市民の皆様と 2 次評価について決定する段階にある。 ・個別施設計画（案）の第 5 編には市の考え方を記載しているが、これは決定事項ではない。「将来ビジョン」「第 3 次集中改革プラン」等において既に方針が決定している施設もあるが、それらも含めて市民との対話の中で進めたい。 ・今後の財政見通しについては厳しいものがある。施設の整理は難しい問題だが早急に取組む必要がある。本日は個別施設の内容については議論しないが、今後の進め方についてご意見をいただきたいと考えており、まずは、平成 30 年度に実施したアンケート結果を抜粋して紹介する。 <p>（配布資料の7に基づき説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしては、総合管理計画においても「佐渡市全体の観点から適切な管理を推進していく」としており、本日はこの観点においても皆様よりご意見をいただきたい。
A 氏 猪股課長	<p>（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備費用について 1 点お聞きしたい。 ・向こう 30 年間の整備費用が約 4,020 億円（年平均約 134 億）とのことだが、棟延床面積の 1 人あたり 8.5 m²を維持するという目標について、ここだけを目標とすると「施設はすべて存続すべき」という理論から脱せられない。そこで、4,020 億円に着眼し、1 件あたりの維持管理費も含めた整備費用の目標金額について何かしら検討しているのか。将来ビジョンにおいても財政計画を立てていると思うが、この観点についてどのように考えているのか。 ・お示したグラフは公共施設とインフラ資産すべての更新費用の推計である。耐用年数を 60 年として、30 年に 1 回の大規模改修、60 年後に更新することを想定して総額的な計算をしている。これは現有施設とインフラ資産をすべて更新したとの仮定である。 ・市民 1 人あたりの棟延床面積 8.5 m²は、計画策定時の棟延床面積を人口で除し

<p>三浦市長</p>	<p>ている。今後人口が減少すれば1人あたりの棟延床面積は増えることとなるので、そうならないように8.5㎡を維持したいという観点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政の関連もあり、60年に1回の更新ができていない施設も多数ある。そこらは未改修部分としてグラフに積み上げている。30年という大規模改修の周期を過ぎた施設についても、すぐに改修できるかという60年後にどうするか検討が先立つ必要がある。 ・個別施設計画はハコモノの計画である。4,020億円は当時総務省で示された単価を用いているが、策定から4年経過しており現状で計算し直すともっと高額になるものと考えられる。 ・目標額の設定については難しい問題である。合併特例債を活用していた頃は普通建設事業費が7～80億円程度であったが現在は40億円程度である。また、この事業費をすべて施設に充てることのできる訳ではないため、長寿命化、改廃の時期を調整しながら財政負担を調整したい。施設個々の計画が見えてくれば、どの時期にそういった改修が必要かについて見えてくるため、整備費用のピークを前後に調整することができる。 ・2017年度は夏の自然災害によってインフラ資産の整備に大きな費用を要した。インフラ資産はハコモノとは別ものであるため、ハコモノの計画をしっかりと作って財政計画を守る必要があり、災害等に備えたインフラ整備費用の備えは常に必要である。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政用語も多く用いているので、配布資料について不明な点についての質問でもよい。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・逆にこちらからお聞きしたい点がある。 ・今後の2次評価の進め方について、どのように検討すべきかについて内部でも検討しているところである。私としては佐渡を1つとして考えるのか、佐渡をいくつかのエリアに分けて施設の再配置を検討すべきかと考えているが、皆様からも具体的な検討方法についてのご意見等あればいただきたい。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果からは、公共施設への利用しやすい移動時間について「車で30分以内」という意見が多数ある。「30分圏内でエリアを作ってはどうか」といった試行錯誤的な検討はしているが、皆様からご意見等あればいただきたい。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア分けの考え方についてお聞きしたい。県内の他の自治体ではどのような取組みがあるのか。今ほど課長の言った2つの方法についてメリットとデメリットは何か。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で県内自治体において先進的な取組はない。 ・佐渡を1つと考えると、旧10市町村分の集会場等をどのように配置するかというトータルの考え方となる。これは人口の隔たりによる検討も必要であり時間を要する。 ・エリア分けについては、例えば30分以内の移動圏域に着目し、旧市町村単位ではなく、一定程度の距離感におけるエリア分けをして、佐渡を4～5エリアに分けた中で類似施設の整理、再配備が検討できないかと考えている。

B 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、1つの地区をモデル地区として2～3年かけて検討し、反省や検証をしながら次のエリアに進むなど、小規模ごとに進めた方が意見も出やすいかと思う。それもメリットと考えている。 ・行政改革の一環として、合併後10何年を経てやっと取組む訳である。「遅すぎる」という市民の意見もある。 ・佐渡を1つと考えるとしても、エリア分けするとしても、その基準については公平性を担保することが重要である。いずれにしても一貫性を持っていただきたい。 ・個人的には市民の意見に耳を傾けるという観点から、エリア分けの方がよいかと思う。一貫性を持って公平な対応をお願いしたい。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆様のご意見を聞きながら2次評価を進めたいが、アンケート結果からもわかるように重要視しなければならない点が3つある。①車の距離感②地域の人口密度③その人口に見合った施設の規模感。この3点を整合しながら考えることが重要かと思う。 ・佐渡市は非常に広い。外周線沿いは人口が少ないため、外周線沿いのどこか1箇所には大きな施設を配置すると両端からの距離が遠くなってしまふ。それなら小さな施設を多数配置するという考え方もある。逆に、人口密集地は大きな施設を1つ用意する。そのあたりを押し引きするためには、現在の旧市町村単位のエリア感覚から脱却する必要があると考えている。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・もう1点お聞きしたい。 ・今ほどエリア分けの話をしたが、その場合の検討の方法について、例えばワークショップ形式がよいか、エリアの代表者を集めた委員会形式がよいか。これもメリットとデメリットがあるかと思う。これまでの佐渡市は委員会形式が多かったように思うが、昨今の色々な計画の策定を見るとワークショップ形式もポピュラーになっている。私どもも検討はしているが、市民の皆様のお考えもお聞かせいただければと思う。
中川課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について皆様のご意見をいただきたい。この意見交換会は個別施設計画の内容について意見交換するものだが、少し先の、計画の進め方についてもご意見があればいただきたいと思う。方法論については、他の地域でも色々あるようだが、この2つの方法にこだわらず、皆様の思いあたることがあれば教えていただきたい。もちろん、それ以外のことについても、何でもご意見いただいで結構である。
A 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・P.4のアンケート結果（「今後、施設ごとの個別計画を立てるにあたり、どのような点に留意して計画を立てるべきだと思いますか」）について、回答が多かった「(3) 施設の数やスペースが減少しても、サービスの水準が低下しないようにする」の設問内容に矛盾があるのではないか。この設問はどのような意図において設問したのか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・施設については、利用者間による調整により利用範囲や稼働率を拡大できるものと考えている。利用頻度を落とさないという考え方である。

<p>B 氏</p> <p>三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ形式と委員会形式について。施設は市民の直接の生活等に関わっているが、どちらの方が市民の意見を聞けると考えているのか。 ・市民の意見を吸い上げる計画づくりであれば、声を広く拾うだけでは計画はまとまらない。私の想定では、エリア分けをした中での委員会形式は一定程度まとまりやすいと思うが、佐和田地区の学校の統廃合にも見られたように、エリア分けや規模感の理念だけでは、地元の施設の統廃合には抵抗がある。アンケートの結果、約 80%が「統廃合はやむなし」と回答しているが、他の地域の統廃合等についての抵抗はないが、自分の地域のこととなると回答は変わってくる。そうすると代表者形式では素案はできるが、ワークショップを含めて複合的に進めないとまとまらないと思う。また、施設によっては、検討に時間を要するものと、短時間で合意形成できるものと分かれてくると思う。施設の種類によって方法論も異なるという悩ましさがある。 ・したがって、この問題については担当課長から皆様にご質問させていただいたものである。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月10日からパブリックコメントを実施しており、個別施設計画（案）の素案を閲覧できる状態にしている。その他、市ホームページからも閲覧やご意見の投稿が可能である。パブリックコメントは2月10日までである。 ・本日の資料は概要版だが、支所・行政サービスセンター、図書館・室には素案を配布している。約 800 近い施設についての素案が閲覧できるようになっている。
<p>C 氏</p> <p>三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ形式や代表者を集めてのやり方は、結果として行政の主観と視点でまとめることとなるので反対である。各業種で働いている様々な方の意見を吸い寄せた方が実態に合うのではないか。普段会わないような会社経営者などからご意見を貰った方がよいのかなと思う。 ・そのパターンは、施設類型ごとにメンバーを変えるべきか。
<p>C 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわらない方がよいと思う。素案であるので「何か作ろう」「頑張ろう」と気合いを入れると失敗しがちである。最初からよいものを作ろうとしない方が結果的にはよいのかなと思う。
<p>B 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これは意見というよりお願いである。 ・市民の立場からすると、まず、何故こういう公共施設の統廃合や行財政改革が必要なのかについて「いろはの“い”」から説明いただきたい。 ・本日会場に来て何故驚いたかという、市民は「行政に任せておけばよい」という考えである。トータル的には削減案を提案すると、総論賛成各論反対となる。例を挙げれば温泉施設の件もある。 ・市民に対し「なぜ行財政改革が必要か」という説明が必要である。「借金がこれだけあって、施設を維持すると経費がいくらかかって財政が維持できない」といった、市民が具体的に理解できる形での説明をいただきたい。市民が「それなら、若者に負の遺産を残さない」と考えられるよう、市民目線での説明をお願いしたい。これが1点。

<p>三浦市長</p> <p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none">・もう 1 点は、市民としては総論賛成各論反対となりがちであるので、その点についてはしっかりと公平性を持って説明をしっかりとしていただきたい。・今のご意見について、本日の資料の P.1 の 1～3 において説明させていただいたが、「これではピンと来ない」というのであればアドバイス願いたい。・意見交換会の中で、地域のエリア分けを想定した場合においても、それぞれのエリアの素案や原案をお示しするタイミングでないと、市民の皆様には具体的なイメージを持っていただけないのではないかと思う。具体的な素案ができた際には維持コストの資料も添えた中でしっかりと説明したい。工夫を凝らしたい。 <p>(挨拶・閉会)</p>
-------------------------	---